

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：中国地方整備局 都市・住宅整備課

担当課長名：石崎 隆弘

事業名	よこたたりせん 横田多里線		事業区分	街路	事業主体	島根県								
起終点	自：島根県仁多郡横田町 至：島根県仁多郡横田町			延長	0.7km									
事業概要	当事業は、国道314号と横田町中心部を結ぶ幹線道路であり、沿道にはJR出雲横田駅、役場、小学校等があり、中心市街地を形成していましたが、空洞化が進行していました。そこで道路機能の強化と歩道の整備を行うことにより、目抜き通りにふさわしい道路空間形成を図るため事業に着手した。													
H5年度事業化	S50年度都市計画決定 (H5年度変更)	H6年度用地着手	H9年度工事着手											
全体事業費	3.1億円		事業進捗率	59%	供用済延長	0.3km								
計画交通量	5,500台/日													
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) -	総費用 (残事業)/(事業全体) - / 35億円 (事業費：- / 34.5億円) (維持管理費：- / 0.7億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) - / 54億円 (走行時間短縮便益：/ 50.3億円) (走行費用減少便益：/ 0.8億円) (交通事故減少便益：/ 3.2億円)	基準年 平成15年										
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） 都市の再生（中心市街地内で行う事業である） 他8項目に該当 													
関係する地方公共団体等の意見	町と地元住民は、街づくり委員会の結成やまちなみ景観の統一などの活動により都市空間の形成に努力し、街路整備を核とした地域の活性化や定住構想への効果を期待して地元の協力体制は整っている。													
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	事業を導入した背景となった社会情勢に大きな変化はない。													
事業の進捗状況、残事業の内容等	1工区(H5-H13)、2工区(H11-H17)、3工区(H15-H20)の3工区に分けて順次整備を進めているが、1工区については、H13に供用開始している。													
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	1工区についてはH11に供用開始し、2工区についてはH16年度の供用を予定している。今年度より3工区に着手し、平成19年度の完成を予定している。													
施設の構造や工法の変更等	特になし													
対応方針	事業継続													
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。													
事業概要図	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <table border="1" style="margin-right: 20px;"> <tr><th colspan="2">凡 例</th></tr> <tr><td style="text-align: center;">▨</td><td>供用中</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">▤</td><td>事業中</td></tr> <tr><td>計画交通量</td><td>5,500台/日</td></tr> </table> </div>						凡 例		▨	供用中	▤	事業中	計画交通量	5,500台/日
凡 例														
▨	供用中													
▤	事業中													
計画交通量	5,500台/日													

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。